



祝祭日には



を掲げましょう



◎7月17日、バザール&夜市で持ち歌を披露した永山さん。
「ふるさと金山炎華ばやし」「新庄あじさい演歌」はYouTubeで配信中です。

キラリ 金山びと

| No. 7 |

歌うことが生きがい 歌を歌っていつまでも健康に――

永山 茂樹さん（70） = 稲沢 =

「久しぶりのステージ、やっぱり歌は自分にとって切っても切り離せない活性剤です」そう笑顔で話すのは、稲沢地区の永山茂樹さん。歌を始めて50年。今までに3曲の歌を自主制作し、たくさんの方のステージで披露しています。

20歳から歌い始め、「柿崎和雄とブルーハワイアーズ」のバンド活動から歌社会デビュー。過去には、NHKのご自慢等々くさんの大会に出場し優勝を飾った実績もあります。歌手を志し上京したり、思い通りのステージが出来ず悔し涙を流したり、たくさんの方がいると話しします。「歌うことが生きがい」そんな永山さんでしたが、新型コロナウイルスの影響で歌を披露する場所が激減。永山さん自身も精神的・身体的に落ち込む日々を過ごしたそう。そんな中、7月に新庄・最上をげん気にする会主催のバザール&夜市が開催され、久しぶりに歌を披露。新曲の「新庄あじさい演歌」を歌いました。「コロナ禍で歌うことがなく、段々に気落ちすることが多かったけれど、ステージが決まってからは気持ちも上向きで当日も楽しく披露できた」と振り返ります。

「この地で暮らすならこの地域を好きでいないとね」と金山への想いを込めた「望郷の詩」や「ふるさと金山炎華ばやし」は、金山の街並みや伝統の祭りを思い出す素敵な楽曲となっています。永山さんの歌手活動はこれからも続きます。「コロナ禍でなかなか思うような生活を送ることができない方も多くいると思う。コロナが落ち着いて、来年はもっといい風が吹くことを祈りたい。皆さんも元気で頑張りたい」と願いを話してくれました。

編集 後記

▼猛暑が続く今、日中の暑い。マスクをしていることが辛くなってきました。人と人の距離が十分に取れる場合は、マスクを外し、こまめに水分をとり熱中症を予防しましょう。

▼いよいよ東京オリンピックが開催されます。この広報が皆さんの手に届くころには、ほとんどの競技の結果が出ていると思います。個人的には学生時代に打ち込んだバレーボール競技のメダルの行方が気になります。会場で観戦することは叶いませんが、テレビの前で応援したいと思ひます。

金山町の人口は、5,157人（6月末現在）

男性	2,523人（－8）
女性	2,634人（－7）
世帯数	1,746世帯

6月の異動	
出生	2人
死亡	12人
転入	1人
転出	6人